

広報NOSAI福井

ほなみ

2024.6

第73号

～穂波～
豊作の美しい景色
が 毎年続きます
ように



第21回総代会開催 P 2

特集『希望あふれる
次世代育成へ』 P14



備えの種を
まこう。

通常総代会開催 全議案可決承認



議長
小寺 辰夫 氏

5月25日、福井県農業共済会館（若狭支所はオンライン参加）にて、総代55名の出席のもと第21回通常総代会を開催しました。来賓として、県農林水産部長 稲葉明人氏、JA福井県五連会長 宮田幸一氏、北陸農政局福井県拠点地方参事官 藤岡康則氏にご臨席いただきました。

議長に小寺辰夫氏（福井市）を選任し、提案した全議案が原案どおり可決・承認されました。

経営の安定をサポート

NOSA I福井 組合長 岡田 高大



猛暑や大雨により、水稲などの農作物に被害が発生しました。さらに、本年1月の能登半島地震では県内でも家屋の損壊が発生し、共済事業総額で4億1千万円を超える共済金をお支払いしました。

また、収入保険については、1,592経営体の加入をいただき、全国トップクラスの加入率を維持しております。

近年、自然災害の多発や激甚化は顕著であり、NOSA Iの果たす役割は、どのような時代であっても、農業者の最後のセーフティネットとして「農業共済」「収入保険」を運営していくことが責務だと感じております。

今後、関係機関・団体との連携を密にしながら、農業保険を推進し、農業者の経営安定に寄与していくことが必要だと考えています。

チャンスを生かし農業を成長産業に

福井県農林水産部 部長 稲葉 明人 氏



不測の事態にも対応できる農業保険制度は、農業者の経営安定に欠かせない極めて重要な制度です。県としても、より多くの農業者が安定した経営を維持できるよう、農業保険の加入促進に努めてまいります。

3月の北陸新幹線開業という100年に一度のチャンスを生かし、農業を成長産業に押し上げ、将来にわたり農村コミュニティが守られるよう尽力してまいります。

所得の向上や豊かな暮らしを目指して

JA福井県五連会長 宮田 幸一 氏



いつ、どこで、どのような災害が発生するか全く予想ができない中で、農業保険制度は、さらに重要になるものと思われまます。

JAグループでは、4月に食と農のデジタルプラットフォーム「トレタス」がオープンしました。新たな仕組みを取り入れながら、農業や暮らしを支えるとともに、農業者の所得向上や豊かな暮らしを実現できるよう、これからも全力で取り組んでまいります。

関係を密に農業・農村の発展に寄与

北陸農政局福井県拠点 地方参事官 藤岡 康則 氏



近年過去に例を見ない自然災害が多発しており、さらに、燃料や肥料の高騰など大きな不安材料が顕在化しています。

このような中で、国内外的様々なリスクから農業経営と農業者を守るセーフティネットの要として、「農業共済」「収入保険」は重要です。今後も組合や農業者などと情報交換を図りながら関係を密にし、福井県の農業・農村の発展に寄与してまいります。

事業推進功績者表彰(組合長表彰)

農業保険事業の運営と、組合の発展にご尽力いただいた方々の表彰を行いました。

受賞されました皆さまには、心から感謝しお祝い申し上げます。
(敬称略)

農業保険事業普及の部

農事組合法人 甌の里

(福井市)

島崎 恒守

(福井市)

株式会社 やなせアット農家

(大野市)

農事組合法人 芦原請負組合

(あわら市)

上出 儀作

(あわら市)

農事組合法人 かみはり

(越前町)

杉本 正樹

(高浜町)

農機具共済の部

農事組合法人 砂子田ファーム

(福井市)

株式会社 ミフェイスつるが気比

(敦賀市)

春日野農産株式会社

(越前市)

川崎 清和

(坂井市)

基礎組織の部(損害評価員)

松村 勘兵衛

(勝山市)

野坂 康雄

(坂井市)

伊東 範雄

(坂井市)

白崎 修身

(坂井市)

細川 進

(南越前町)

田多 悟

(若狭町)

第21回通常総代会提出議案

第1号議案 令和5年度 事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理事案について

第2号議案 令和6年度 事業計画及び業務収支予算書について

第3号議案 令和6年度 事務費賦課額及び徴収方法について

第4号議案 共済連絡員、損害評価員、損害評価会委員及び役員報酬について

第5号議案 役員退任慰労金について

第6号議案 特別積立金取崩し限度額について

第7号議案 余剰金の預入先金融機関の指定について

第8号議案 借入金の最高限度額、借入先、借入利率について

第9号議案 危険段階別共済掛金率の設定について

第10号議案 定款の一部改正について

第11号議案 事業規程の一部改正について

第12号議案 諸規則の一部改正について

第13号議案 損害評価会委員の選任について

第14号議案 役員を選任について

附帯決議

令和6年度 基本方針

近年、人口減少に伴う生産者の減少・農業者高齢化に加え、世界的に激甚化する大規模な自然災害により、農業経営を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

今年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの人命を奪うとともに、農業・農村にも甚大な被害をもたらす、県内でも水路や農地損傷の被害が発生しました。

このような中で、国の農業災害対策の基幹である「収入保険」と「農業共済」の二つのセーフティネットを担う実施主体として、次の基本方針を柱として業務に取り組んでまいります。

『すべての農業者にセーフティネットを提供できる』体制を構築

関係機関や行政・生産者団体等と推進体制を構築し、両制度の一層の普及定着に組織を挙げて取り組み、農業者自らがリスクに備えることの重要性について理解を広げます。

全国運動「未来へつなぐ」サポート運動の展開

「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」を行動スローガンに掲げ、地域と一体となった活動を実践し、農業保険の総合性と、農業・農村の地域性を踏まえた農業保険の加入推進を行います。

コンプライアンス態勢の確立と内部監査機能の強化

組合員に一層信頼されるため、高い倫理観のもと組織運営の透明性や法令等遵守を重視する姿勢を明確にし、適正かつ効率的な業務運営を実践していきます。

人材育成と職員の資質向上を図る

農業者のニーズに合った加入の提案を行うとともに、農業経営などの幅広い相談にも応えられるよう、職員研修や外部研修を積極的に行い、職員の資質向上に取り組みます。

令和6年度 事業計画

農業共済		区域内概数	計画規模	引受率	農業共済		区域内概数	計画規模	引受率
農作物	水稻	25,500 ha	10,600 ha (24,700)	42% (97)	畑作物	大豆	1,940 ha	490 ha (1,860)	25% (96)
	麦	5,350 ha	1,712 ha (5,350)	32% (100)		そば	3,550 ha	860 ha (3,340)	24% (94)
家畜	死廃	6,310 頭	6,310 頭	100%	園芸施設		6,050 棟	4,840 棟	80%
	病傷	2,790 頭	2,790 頭	100%	任意	建物	97,000 棟	32,950 棟	34%
果樹	ぶどう	12 ha	2 ha (8)	16% (66)		農機具	17,000 台	5,300 台	31%
	なし	61 ha	22 ha (35)	34% (58)	収入保険		3,478 戸	1,750 戸	50%
	かき	22 ha	13 ha (18)	59% (81)					
	うめ	282 ha	33 ha (124)	12% (44)					

※ () 内は収入保険加入者を含む。

新役員

(任期：令和6年6月～3年間)

理事は執行機関として、組合の運営方針などを策定します。監事は監査機関として、組合の財産及び業務執行の状況を監査します。
(敬称略)

組合長理事	東村 新一 (新任)
専務理事	岩居 俊伸 (新任)
業務担当理事	白崎 逸朗 (再任)
理事	松崎 晃治 (再任)
理事	石山 志保 (新任)
理事	杉本 博文 (再任)
理事	川端 智雄 (新任)
理事	加藤 秀信 (新任)
理事	小不動勝史 (新任)
理事	川合久利子 (新任)
代表監事	河合 永充 (新任)
監事	増田 仁視 (再任)

組合長就任 ご挨拶



組合長理事
東村 新一

日頃より農業保険事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度の役員改選に伴い、組合長理事に就任いたしました。責任の重大さに身の引き締まる思いではございますが、誠心誠意、務めさせていただく所存でございます。さて、今国会で農政の指針となる「食料・農業・農村基本法」の改正が成立し、「食料安全保障の確保」など日本農業の大きな転換点を迎えています。また、今年3月には、県の新たな農業基本方針「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画」が策定されました。

現在、農業情勢は課題が山積しており、激甚化する自然災害や国際情勢の変動による農業資材の高騰など、農業者が備えるべきリスクが多様化しています。このような中で、NOSAが担う農業経営のセーフティネットとしての役割は、より重要視されていると感じております。

これからも、関係機関や団体との連携をより密にしながら、農業者の期待に添えますよう、役員一丸となり農業保険の加入推進に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶いたします。

農家代表理事の皆さままで。



川端 智雄
(福井市)

半農半Xの経営ですが、その代表として、本県農業の振興に貢献できれば幸いです。



加藤 秀信
(あわら市)

大規模農業者の一人として、協力させていただきました。よろしくお願ひします。



小不動 勝史
(南越前町)

中山間地の個人経営者の一人として、3年間尽力してまいります。よろしくお願ひします。



川合 久利子
(坂井市)

組合員の皆さまのお力になれますよう、頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

総代

(任期…令和6年4月～3年間)

120名

総代会にて事業計画や予算をはじめ、組運営の重要な審議を行います。

福井市

飯塚 爲田 茂治 (敬称略)
 開発 三谷 和弘
 本堂 佐々木英治
 下六条 佐藤 紀明
 島山梨子 豊岡 敏広
 寮 天谷 真之
 重立 小寺 辰夫
 波寄 長谷川忠夫
 浜住 石森 忠一
 荒木新保 宮越 勝寛
 安波賀中島 吉川 孚
 上東郷 岩崎 真次
 郡 水野耕治郎
 二日市 加藤 高則
 天池 伊藤 敏夫
 今市 清水 勝栄
 下細江 野路 益伸
 徳光 松川 明人
 福島 谷口善一郎
 東河原 小林 紀雄
 笹谷 辻 勝弘
 片粕 松島 幸男
 在田 朝倉伊知郎
 浜北山 白崎 善三
 菖蒲池 松本 安博
 犬山 嶋田 康博
 新庄 澤邊 利和

勝山市

岡横江 川合 松丸 森目 平沢 木本領家
 浄土寺 土布子 萩原 光司
 松田 栗林 東野上 田中 昭司
 嶮崎 齋藤 孝幸
 松岡吉野 吉田 勇人
 松岡上合月 池端 延雄
 轟 南部 晴一
 吉波 川崎 直文
 大月 黒田 一男
 上鯖江 田中 涼一
 定次 細川 裕
 中野松成 堀 克行
 別所 黒田 正知
 松成 堀 正朗
 富永 津田 寛之
 東庄境 渡辺 昭雄
 横住 渡辺 栄
 下広瀬 畠中 崇宏
 庄 片岡 健三
 高木 塚崎 信行
 下四目 桑原 誠
 下中津原 谷口 正彦
 白崎 大友 享
 戸谷 林 隆章
 大屋 平井 博
 徳間 玉村 嘉男

越前市

赤萩 寺谷 山腰 守夫
 下牧谷 板垣 泰正
 山本 登
 宮地 勝春
 山際 義行
 江端 一郎
 平井 勝治
 丹尾三左門
 渡邊 文夫
 木原嘉左門
 河合 利満
 長谷 範幸
 佐々木勝行
 藤野 雄次
 長田 耕治
 松本 光夫
 豊田 敏幸
 竹内 良信
 小川 寛二
 中川 寛二
 村上 真也
 新宅章一郎
 安崎 賢弥
 山田 寛
 山田 泰照
 林 宏亮
 高橋 幸児
 田邊 清次
 新谷 正博
 青池 進
 大島 義雄
 今井 重夫

池田町

南越前町

越前町

あわら市

坂井市

敦賀市

小浜市

美浜町

高浜町

おい町

若狭町

沓見 奥野 野坂 中央町 高塚 竹長 平野 和久里 上加斗 大藪 興道寺 佐田 車持 横津海 鎌倉 名田庄下 笹谷 岡田 長井 倉見 藤井 伊良積 海士坂 天徳寺 下野木 川端 孝夫 岨本 拓哉 笹山 和茂 中者 正男 武内 喜一 窪 信喜 宮本 康好 田中 秀明 木村 嘉孝 浅妻 孝彦 藪ノ内太喜 由利 博 村松 明芳 松本 宜来 青木 良暢 森 和哉 山本 治 水上 栄 松宮 亨 増井 清文 常田 清和 熊谷 守 島光 毅 河原 耕一 倉谷 正典

損害評価員

(任期：令和6年4月～3年間)

200名

共済事故の現地損害評価を行います。

福井市

(敬称略)

寺前	出村	三郎丸	赤坂	東郷中島	西新	篠尾	南菅生	石新保	木米	布施田	水切	西別所	上中	曾万布	殿下	大丹生北	江上	南檜原	小稲津	下一光	末	北南居	久喜津	丸山	下中	和田中西	下馬	角折
吉川	黒田紀志雄	青山敏夫	羽田傳榮	金井忍	上野哲夫	下畑学	岩田謙二	杉田和一	西藪喜代士	自閑史吉	井上榮治	渡辺政幸	安野光博	飛田康裕	森永律男	藤田和男	西本信二	楡本正行	前田尚之	西山利一	野村定好	市村武男	河野善司	浅野進一	武澤義明	佐々木明	前川秀人	西川善一

大野市

勝山市

東野下	北新在家	清水島	竹林	暮見	高島	岡横江	川合	落合	石谷	塚原	上野	榎	北御門	上五条方	深井	大門	中保	西大月	第一西田	在田	清水山上	下天下	笹谷	美山	東河原	南野津又	西中	市波	岩倉	下河北	今市	徳尾	天池	川合鷲塚
石川	坂上	水田	内田	嶋田	伊藤宗一郎	長谷川敬祐	加藤和徳	森嶋正幸	前川良明	米村正悟	三嶋信治	松田裕二	山田修次	建石正治	飯田和仁	中村広之	北川弥智男	朝日高志	松本耕治	小林猛	谷口新悟	宮永政幸	水島康幸	尾崎公男	小林紀雄	清水重勝	山崎治和	辻本勉	笠原英夫	平元理	堀江善和	三上孝弘	伊藤敏夫	加藤久明男

越前市

鯖江市

永平寺町

平林	三ツ屋	四郎丸	中津原	上太田	大虫	村国	西家久	池ノ上	上広瀬	妙法寺	平出	室谷	赤坂	中津山	新在家	西檜尾	東清水	松成	和田	田村	石田上	別所	水落上	新	上鯖江	野中	大月	諏訪間	松岡室一	松岡下合月	松岡吉野塚	北六呂師	矢戸口	崎崎	森下
大塚与四郎	納村正博	齊藤但	小泉茂生	大久保栄一	高橋敏之	堀井栄一	竹内泰一	青木達夫	仲野隆	土井内幸男	関正明	武安巖	山田敏史	山田博夫	高野吉宏	永木良和	山岨哲邦	堀正朗	高棹勝廣	高田信男	鷲田耕三	杉本敏行	久嶋範雄	福岡理一	田中清隆	朝井俊憲	黒田一男	坪川三洋	江守正雄	藤善一	新町幹夫	加藤英孝	斎藤孝幸	森下秀光	

南越前町

池田町

越前町

あわら市

坂井市

池上	加戸西	沢	宮谷	東山	熊坂	池口	伊井南	古	波松	赤尾	河間	中番	重義	桜谷	平等	梅浦	八田	小曾原	下糸生	金谷	乙坂	田中	赤萩	八飯	下新道	天王	鯖波	鑄物師	東谷	水海	谷口	稲荷	上黒川	池泉	橋詰
高橋	加藤嘉規	田畑義雄	堀川博司	北廣見	竜田誠	堀川憲男	中嶋浩和	館清進	寺崎清視	坪田孝行	吉江孝彰	藤井孝彰	竹内孝輔	伊藤喜代数	来馬敏明	長谷範幸	齋藤稔	木原嘉左之門	古崎新治	吉田義広	清水則雄	笠原義和	橋爪由貴哉	赤澤健一	田嶋秀夫	井坂博	笛吹巧	片山明則	田中広明	上山正勝	山内修	長尾伸二	稲葉洋	橋詰實雄	

水稲共済

収穫前に 必ず被害申告を

圃場の状態をよく観察し、支払い基準を超える減収が見込まれる場合は、必ず被害申告をしてください。

対象となる共済事故

気象上の災害（風水害・干害など）、鳥獣害（イノシシ・シカ・スズメなど）、病虫害、火災などです。



獣害



風水害



虫害



干害

被害申告の方法

被害申告野帳（用紙）に、必要事項を記入し提出してください。

被害申告の時期

収穫のおおよそ1〜2週間前を目安にお願いします。（獣害など突発的な被害は除く）

被害申告の目安

◆半相殺方式
はんそうさい
1.5割の減収が見込まれる圃場について、すべて申告をしてください。現地調査により、被害圃場の減収量を評価します。

◆全相殺方式・品質方式

ぜんそうさい
1割の減収が見込まれる圃場について、共済事故確認のため、すべて申告をしてください。出荷資料により、全体の収穫量の減少を評価します。

◆地域インデックス方式

1割の減収が見込まれる圃場について、共済事故確認のため、すべて申告をしてください。国が公表する統計データにより評価します。

圃場単位の補償も充実

一筆全損特例

収穫皆無の場合、一筆全損特例として7割相当の補償をします。一筆全損特例は標準に付加されています。

一筆半損特約

収穫量が半作以下の圃場について、一律5割の減収として評価を行い、2割相当の補償をします。（ただし、一筆半損は特約を申込みしただけに限りません）

一筆半損特約を付けた加入をお勧めします



分割評価について

不適切な肥培管理や防除等の原因による減収は、共済事故の減収量として取り扱わないこととしています。



強風によるビニールの破損

「今まで災害にあったことがないから大丈夫」と思っていないませんか？
災害はいつどこで起こるかわかりません。
ハウスの補強等に加え、共済に加入するなど自ら災害に備えることが大切です。

台風シーズンが到来します

備えは万全ですか？

必要な補償プランが選択可能です

【例】 設置面積	300 m ²	被覆材	新品農 PO 0.15 mm
パイプ外径	25.4 mm以下	ハウス評価額	132 万円
築年数	4 年経過		※付保割合 8割の場合

プラン①

安い掛金で大きな被害だけ補償

損害額が 100 万円を超える場合に支払対象

〈年間掛金等〉

3,350円

プラン①は掛金安い方がよいという方におすすめです



プラン②

小さな被害から補償

損害額が 1 万円を超える場合から支払対象

〈年間掛金等〉

15,609円

他にも加入プランをご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。



台風前にチェックしましょう！

夏から秋にかけては、台風による被害のリスクが高まる時期です。被害軽減のため、チェックリストを参考に点検、準備をしませんか。

👉 台風に備える簡易チェックリスト

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 最新の気象情報を確認しましたか | <input type="checkbox"/> ハウス周辺を片付けましたか |
| <input type="checkbox"/> 換気部や被覆材の隙間などに風の吹き込み口はありませんか | <input type="checkbox"/> ハウスの戸締りはしましたか |
| <input type="checkbox"/> 斜材を設置するなど応急的は補強はしましたか | |

建物共済



能登半島地震による被害

農業者で、建物共済に未加入の方に対し、加入のご案内をさせていただきます。この機会に、所有する建物が無保険でないか、補償は十分か確認しましょう。

組合からの
お知らせ



- **安い掛金でがっちり補償**
超低金利時代にマッチした、スリムな掛金でがっちり補償。
- **異常気象にもしっかり対応**
台風や水害、地震など予期しない災害からも、総合共済でしっかり補償。
- **面倒な手続きはありません**
加入申込手続きから共済金請求手続きまで、職員が全力でサポートします。

建物共済の魅力

今年の1月に発生した能登半島地震では、県内でも震度5強を観測し、農地や家屋に多数の被害が発生しました。いつどこで起こるか分からない災害に備え、建物共済に加入しましょう。

建物の補償を 確認しましょう

総合共済

- 木造住宅 100万円あたり 掛金 730円/年
- 対象となる事故は



など

- 木造住宅 100万円あたり 掛金 2,670円/年
- 対象となる事故は



※地震は加入金額の50%を限度に補償

～農作業安全推進会議より～

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

熱中症対策チェックリスト

- 高温時の作業は避ける**
一般的に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。
- 単独作業は避けましょう**
なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声を掛けあったり、異常が無いか確認しあうようにしましょう。
- 20分おきに休憩&水分補強をしましょう**
涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどがかわいてなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。



収入保険

収入保険のお申し込みはお早めに！

収入保険の令和7年1月からの加入申し込みを受け付けています。多発する災害や市場価格の低迷などの収入減少に備えましょう。(加入申込期限は12月)

●新たに収入保険へ加入をご検討されている皆さまへ

保険料の1/3が補助されます！

県では、農業者の経営安定を図るため、「収入保険加入推進事業」を実施し、農家の収入保険加入を推進しています。この機会に、収入保険の加入をご検討ください。

【補助の概要】

- 令和7年を対象とする収入保険に新規加入した方が対象です。
- 加入者負担保険料（掛捨て部分）の3分の1の補助が受けられます。

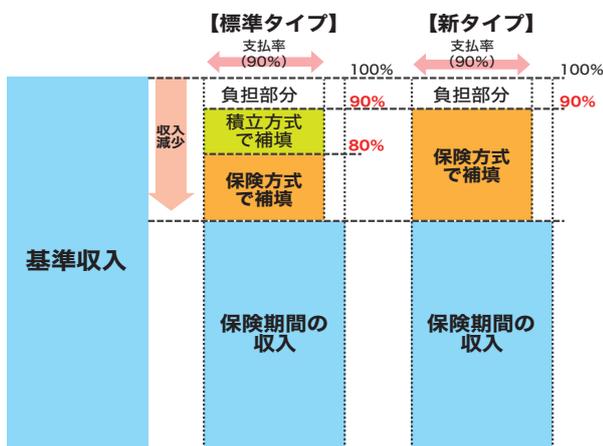
●青色申告1年目でも加入できます

令和6年から青色申告を始めた方も加入できます。加入をご検討されている方は、補償内容の試算もできますので、お気軽にご相談ください。

●補償の方式が選べます

これまで保険方式と積立方式の組み合わせが基本でしたが、令和6年より保険方式のみの加入が選択できるようになりました。

【保険料等の目安】 ※基準収入が100万円の場合



掛捨ての保険料が少ない
(ただし積立を含む総額は大きい)

積立を含む総額が少ない
(ただし掛捨ての保険料は大きい)

	標準タイプ	新タイプ
保険方式	80%	90%
積立方式	10%	0%
保険料	8,500円	17,700円
積立金	22,500円	0円
事務費	6,300円	
計	37,300円	24,000円

代替作物の作付けを行った場合の収入保険の取扱いの見直しについて

作付け前や作付け直後に事故が発生し、別の作物（代替作物）の作付けを行った場合の補償水準（基準収入）について、取り扱いが見直されました。

変更前 収入減少を回復するために代替作物の作付けを行った場合、当初作付予定の営農計画及び見込収入に、代替作物分を加えて基準収入を再計算



変更後 代替作物分は見込収入には加算せず、基準収入を変更しない。なお、代替作物の栽培の事実を記録するため営農計画には代替作物を記載

※ 令和6年1月1日以後に開始する収入保険の保険関係から実施

収入保険

インターネット申請を始めませんか？

これにより様々な申請手続きがご自宅から可能となります。保険料等の割引きもありますのでご検討ください。

インターネット申請を始めると、以下の手続きが2ステップで簡単にできるようになります。

被害申告がその場で可能

これまでは災害の度に NOSAI に連絡し、
圃場の確認などを行っていましたが…



- ① スマホで被害圃場を撮影
- ② 写真を収入保険システムにアップロード

確定申告書類を自宅から提出可能

これまでは、確定申告後に書類のコピーを作成し NOSAI に渡していましたが…



- ① スマホで必要な確定申告書類を撮影
- ② 写真を収入保険システムにアップロード

インターネット申請のお得なメリット

ご自宅のパソコンから好きな時間にお手続きができ、さらに保険料等の割引を受けることができます。

新規加入なら…**4,500** 円

継続加入でも…**2,200** 円 割引！

インターネット申請は農林水産省が提供する農林水産省共通申請サービス（eMAFF：イーマフ）を利用することで可能となります。この機会にぜひご検討ください。



インターネット申請に係る手続きは
NOSAI 福井がサポートいたします！
お気軽にお問合せください

希望あふれる次世代育成へ

今年3月に発表された県の新たな農業基本方針「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画」
 施策の一つとして、希望あふれる次世代の担い手育成を掲げています。

今回は、担い手育成を担う園芸カレッジと農業技術に触れられる園芸LABOの丘を取材しました。

幅広い後継者育成へ

平成26年6月にあわら市に開校した園芸カレッジ。農業人材を育成する拠点として開校された同施設周辺には、研修用のハウスがずらりと並んでおり、生徒1人1人に1棟ずつ貸し出され、トマトやメロンなど生徒それぞれが、希望する品目に合わせた生産の基礎から販売まで一貫して学べる環境を整えています。

園芸カレッジ

〈あわら市〉



研修ハウスで生育チェックを行う実習。カレッジでは30～40代がメインで学んでいる

研修生の とある1日の流れ

～9:00	ハウスの状況 確認・収穫
9:00	カレッジ施設で 全体ミーティング
10:00	座学講習会 出荷調製等
13:00	生育管理 生育調査実習

この6月で開校から10年が過ぎ、これまでに県内外から延べ296名が入校。ふくい園芸カレッジ室長の小林秀樹さんは「卒業生のうち85%の研修生が県内で農業に従事しています。今年も25名が入校し、就農に向けて生産管理を学んでいます」と話してくれました。

また、県の園芸振興課主任の瀬野早苗さんは「県では、国の新規就農支援策に加え、60歳まで独自の追加支援を行っています。条件はありますが、就農の一助として活用してもらいたいです」と教えてくれました。

昨年度から特産のナシ栽培を学べる果樹コースが新設され、地域の後継者不足解消に向けた取り組みも始まりました。

メロン農家を目指して

やぎ たかはる
八木 隆治さん

今年の1月に入校し、マルセイユメロンの生産を学んでいます。入校前は石川県で農業とは全く違う仕事をしていました。

愛知県の知り合い農家を参考にイチゴ生産者を目指していましたが、実習でメロン栽培に触れ、ひとつひとつ学んで行くうちに、自分に合っているなと感じたため、三里浜でメロン農家になることを決めました。

まだまだ勉強中ですが、園芸カレッジで基礎をしっかりと学び、2年後の就農にむけて頑張っていきたいです。

研修生の 声



嶺南地域を園芸振興で活性化

第二園芸カレッジ を整備

県の新たな計画は、4K（希望あふれる・かっこいい・稼げる・感動）農業を目指しています。なかでも、「希望あふれる次世代の担い手育成」として、嶺南地域に第二園芸カレッジを整備することが計画されています。第二園芸カレッジでは、スマート園芸コース、ウメなどの果樹コース、観光農園コースなどを開講する計画です。

第二園芸カレッジ



園芸 LABO の丘

〈美浜町〉

三方五湖を望む

丘の上にある施設

令和元年7月に園芸研究センター横に開設された「園芸LABOの丘」は、オープンから5年が経過。同施設では、メインの大きなハウスで全長10mにもなる「巨木トマト」が水耕栽培されているほか、収穫体験や調理体験講座などが行われています。

また、施設の敷地内では、野草やハーブ、地域特産の果樹など様々な植物が栽培されて



園芸 LABO では、果樹の花きなど数多くの植物が栽培されている

おり、身近に福井の農産物に触れられる場所となつています。

今年には北陸新幹線が敦賀まで延伸したこともあり、ゴールデンウィークには来場者が2,000人を超え、大変盛況でした。「多肉植物の植え付け体験やいちご大福づくりなどを開催し、多くの家族連れや観光客に若狭の自然を楽しんでもらいました」と県農業試験場（園芸研究センター）園芸交流課・課長の菅江哲さんは話します。

今後、収穫や寄せ植え体験など、予約なく参加できる企画を検討中で、「週末には多くの観光客で賑わうスポットとなるよう、気軽に観光客が農業に触れあえる活動を増やしていきたいです」と話してくれました。

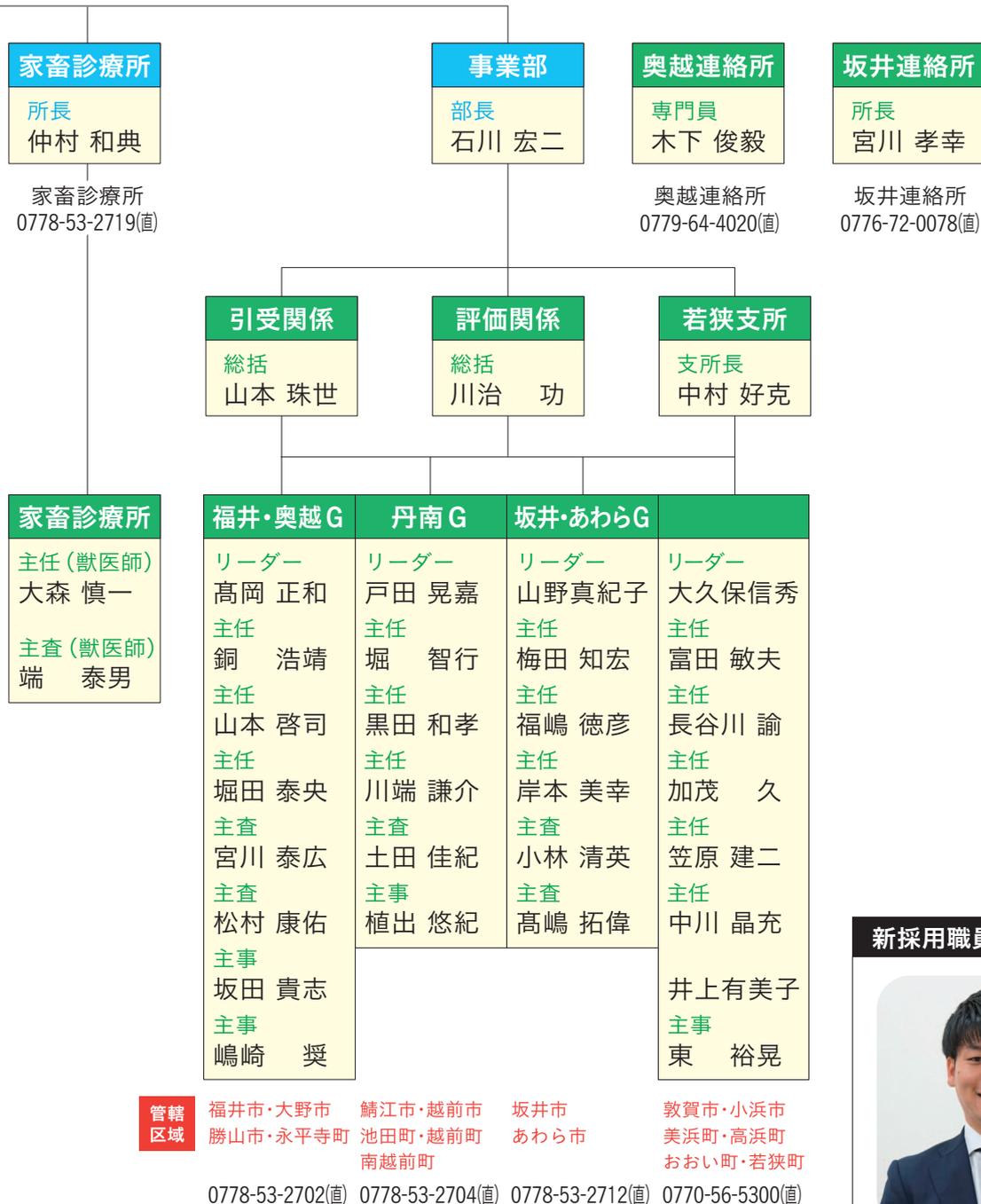
まだ訪れたことがない方は、週末に足を運んでみてはいかがでしょうか。



2021年の巨木トマト。今年は赤と黄色のミニトマトを栽培している（提供：園芸 LABO の丘）

新機構・職員配置図 (令和6年6月1日現在)

6月1日付けで、人事異動を行いました。これからも農業保険の普及定着に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。職員の配置は次のとおりです。



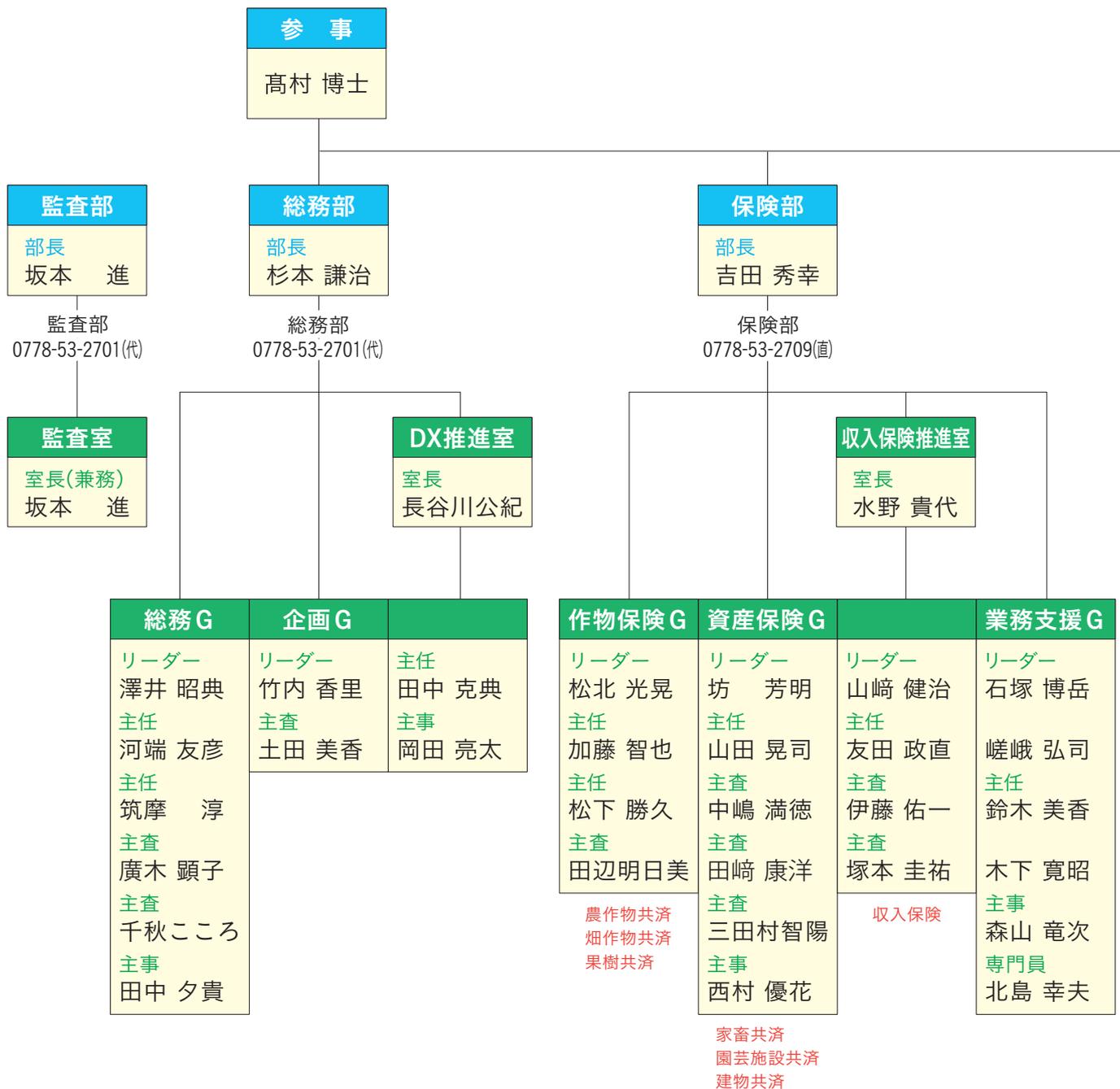
管轄 区域	福井市・大野市	鯖江市・越前市	坂井市	敦賀市・小浜市
	勝山市・永平寺町	池田町・越前町 南越前町	あわら市	美浜町・高浜町 おおい町・若狭町
	0778-53-2702(直)	0778-53-2704(直)	0778-53-2712(直)	0770-56-5300(直)

本 所：☎ 0120-83-2701
若狭支所：☎ 0120-56-5312

新採用職員

事業部 丹南グループ
主事 植出 悠紀

1日でも早く皆さま
のお役に立てるよう、
頑張ります。



● 事業部を1つに統合しました

これまでの第1事業部、第2事業部、第3事業部、若狭支所を1つに統合し、効率的な事業推進を図ります。

● 新しい部署(DX推進室)のご紹介

これからのデジタル化とシステムのWEB化に迅速に対応できるよう、専門部署を新設しました。

農業者の利便性の向上と、事務所内部のデジタル化を進めます。

＊ほなみ女性の会 活動だより

5月30日に令和6年度総会を開催し、43名の会員が出席しました。6年度の事業計画などの全議案が原案どおり承認されました。

総会終了後は、会員による販売会を実施。10名の会員が惣菜やパン、青果などを販売し、全店盛況となりました。

●事業計画

令和6年度は、ブロック間交流会として、各ブロック主催の交流会を順次開催予定です。他ブロックからの参加も可能になります。



総会の様子



販売会の様子



令和6年度からの新役員紹介

会長 滝本 和子 (福井・奥越)
 副会長 藤本 和美 (若狭)
 副会長 武藤 美雪 (丹南)
 会計 佐藤 廣代 (あわら・坂井)

ブロック代表

福井・奥越 堤 幸恵
 丹南 大久保文枝
 あわら・坂井 乗京マズ子
 若狭 杉森 芙美 (敬称略)

第5回



今回ご紹介するのは、事業部福井・奥越グループの嶋崎さんです。家庭を持ってから始めたブドウのコンテナ栽培への挑戦について話してくれました。

職員のよもやま



おいしいブドウに魅せられて

事業部福井・奥越グループ

主事 嶋崎 奨

4年前から自宅のカーポートでシャインマスカットをコンテナで栽培しています。きっかけは、坂井・あわら地区の担当だったときに、ブドウ生産者のおいしいブドウを食べたことで、自分でも作って食べてみたいと思ったからです。

最初は庭に直接植えて育てようかと考えていましたが、生産者さんからのアドバイスでコンテナを使った栽培にしました。コンテナを使用することで、置き場を移動することも簡単で、樹の大きさも調整できるので、とても管理しやすいです。また、カーポートで栽培しているため、誘引棚を作ることなく枝を簡単に誘引でき、カーポートもオシャレに見えるのでお得感があります。

私は1本だけを育てていますが、何十本もの樹を管理している生産者のご苦労を実感する毎日です。

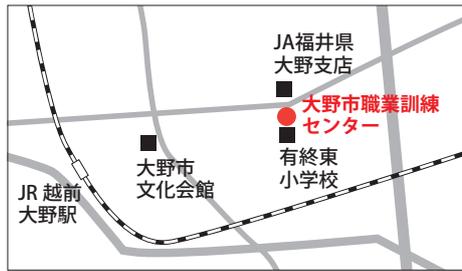
去年ようやく花が付き、期待に胸を膨らませましたが、風で木が揺さぶられてしまい、実をつけることなく散ってしまいました。今年こそ甘くておいしいブドウが採れるよう、プロフェッショナルからアドバイザーをもらいながら、家族と一緒に温かく見守り育てていきたいです。

奥越連絡所 移転のおしらせ

これまで、越前おおのまちなか交流センターの一角に開設していましたが、6月14日より大野市職業訓練センター（eプレイスおおの）の2階へ移転しました。
 なお、奥越連絡所に設置しているRTK固定基地局も移転となります。



大野市中挟一丁目1601番地1
 大野市職業訓練センター
 (eプレイスおおの) 2階
 ☎0779-64-4020



今後の予定

- 6月・広報紙「ほなみ」73号 発行
 - 7月・なし・かき掛金納入期限（1日）
 - ・秋そば加入申請期限（12日）
 - ・うめ掛金納入期限（22日）
 - ・大豆掛金納入期限
 （単作16日・麦あと31日）
 - 8月・水稲掛金納入期限（31日）
 - ・水稲損害評価（〜10月まで）
 - ・ぶどう・なし損害評価
 - 9月・麦加入申込期限（20日）
 - ・秋そば掛金納入期限（30日）
 - 10月・麦・うめ 共済金支払い
 - ・大豆・そば・かき 損害評価
 - 11月・収入保険 加入申込期限（30日）
 - 12月・広報紙「ほなみ」74号 発行
 - ・収入保険 保険料・積立金納入
 - ・水稲・ぶどう・なし 共済金支払い
- ※収入保険の加入申請は随時行っています。

表紙紹介

園芸カレッジ生 6名
 今回は、特集で取材したふくい園芸カレッジの研修生が、ハウス内の堆肥撒き作業をするところにお邪魔し、撮影させていただきました。
 堆肥を上手にスコップで散布する研修生は、手際よく作業していました。

【広告】

交通安全

今年に入って県内で発生した交通死亡事故の死者8名のうち7名が65歳以上です。
 （令和6年5月28日現在）高齢の方は特に注意しましょう。

横断後半も気をつけて



道路を横断する時は、横断前の左右の安全確認はもちろん、
渡りきるまで安全確認を！

- ☑横断前、左に車が見えたら**渡らない**
- ☑横断中も**安全確認**
- ☑横断後半、近づく車を見たら**ストップ**

福井県警察本部交通部 交通事故防止対策室



今年から管理する畑では、ニンニクが大きく育っている



自宅の庭で家庭菜園をながめながら話す山崎さん。「畑作業をやっている間が楽しい」と笑顔みせる



楽しむことが続ける秘訣

山崎 孝晴さん（高浜町）

高浜町の山崎孝晴さん（81）は、自宅近くにある2カ所の畑で、白菜やタマネギ、ニンニクなどを栽培しています。

もともと大阪で働いていた山崎さんは、定年退職を機に福井に戻り、セカンドライフとして畑や庭の手入れなどを始めました。

「草むしりや管理は大変だけど、実際に自分の手できれいにしていくことで、達成感が味わえ、成長の楽しみがさらに増えてくる」と笑顔。「今年新しく管理することになった畑は砂地で、今までと違い肥料や水管理がわからない」と悩みながらも、何を作ろうかと楽しそうに話す山崎さん。近所の人たちと世間話をしながら、自分のペースで農作業することが楽しいと笑顔を見せます。

山崎さんは、同中寄地区の景観を保つ住民団体「蠅の里くらぶ」の会長も務めています。集落内の休耕地などを利用して、コスモス畑やハーブ園などを作っており、集落内外のメンバーとともに、楽しみながら地区の景観を守っています。その活動の中でも、山崎さんは楽しむことを第一に考え、みんなが笑顔で活動できる環境や場所を提供しています。山崎さんは「義務としてやるのではなく、楽しみながらやる。自分たちも楽しくやった方が無理なく続けられる」と話してくれました。

改訂版 ふくいの家庭菜園

好評発売中!!

お求め方法

(1) ホームページより購入

「クレジットカード決済」、
「コンビニ決済」より
お支払いいただけます。



購入は
こちら

振込確認後、冊子を郵送させていただきます。

(2) 組合事務所で購入

NOSAI 福井本所、若狭支所、奥越連絡所、
坂井連絡所の4カ所でお求めいただけます。



1,000円(税込)/冊

発行



<ご意見・お問い合わせ>



<facebook NOSAI 福井>



いいね! シェアお願いします。

本所

☎ 0120-83-2701
〒916-0036 鯖江市横越町18-41-1
TEL (0778) 53-2701(代)
FAX (0778) 53-2705

■ 福井・奥越グループ TEL (0778) 53-2702
福井市・大野市・勝山市・永平寺町

■ 丹南グループ TEL (0778) 53-2704
鯖江市・越前市・池田町・南越前町・越前町

■ 坂井・あわらグループ TEL (0778) 53-2712
坂井市・あわら市

■ 家畜診療所 TEL (0778) 53-2719

若狭支所

☎ 0120-56-5312
〒917-0241 小浜市遠敷49-1-2
TEL (0770) 56-5300(代)
FAX (0770) 56-5306
敦賀市・小浜市・美浜町・高浜町・おおい町・若狭町

奥越連絡所

〒912-0015 大野市中挾一丁目1601番地1
TEL (0779) 64-4020

坂井連絡所

〒919-0526 坂井市坂井町上兵庫40-15
TEL (0776) 72-0078
FAX (0776) 72-0085

ホームページアドレス

<https://www.nosai-fukui.jp/>